



＝魚住小 学校運営協議会がスタートしました＝

4月17日水曜日、魚住小学校でまちづくり協議会、民生児童委員協議会、高年クラブ、うおずみ総合支援センター、魚住小PTA、魚住小の7団体8名で構成された、学校運営協議会がスタートしました。学校長から学校運営協議会の趣旨の説明、学校運営方針の説明・承認の後、地域の高齢化、これからのPTAやまち協のあり方といった課題や、子ども支援での連携等それぞれの立場から率直な意見の交換がなされました。その中で「子どもを育てることはまちづくりにつながる。元気なまちをつくる取り組みとコミュニティ・スクールづくりは大きく重なる、情報交換を行い、一緒に考えていこう」という方向性が確認され、無事に会を終えました。このメンバーを中心に魚住小学校コミュニティ・スクールでどんな取り組みが生まれてくるか楽しみになってきました。メンバーの中に総合支援センターのコーディネーターさんが入っているのは面白いなと思いました。

＝魚住小コミセンではこんなことを＝



魚住小コミセンは、この4月から施設管理をまちづくり協議会に任せられ、運営を進められています。市内の中学校区・小学校区にはコミセンがおかれ、まちづくり協議会によるまちづくりや地域の皆さんの学びと交流の場になっています。教員はコミセンの役割やまち協さんがすすめられている取り組みについてあまり知らないというのが正直なところだと思います。子どもたちの住んでいる地域を知るという意味でもコミセンの役割、まち協さんの取り組みに目を向けることがこれからの学校に求められている「社会に開かれた教育課程」を考えるうえでも、コミュニティ・スクールづくりをすすめるうえでも、必要かもしれないですね。



そんな魚住のまち協さんの先進的なユニークな取り組みを「喫茶くすのき」でおいしいコーヒーを頂きながら、お話を聞くことができました。「喫茶くすのき」では毎月1回、「きずなサロン（“消費生活講座” “歌って元気に！心も体も！”といった地域の皆さん向けの講座・教室）」、「映画観賞会」、「みんなdeごはん」を、金ケ崎公園では毎月1回「里山ジュニアクラブ」、年3回「親子自然体験 in 金ケ崎」が開催されています。子どもたち向けには、明石清水高校と連携した「みんなdeお勉強」を毎週開催されるなど、地域の皆さんのアイデアと実行力で人が集いつながりながら子どもたちだけでなく、大人も育つまちづくりに取り組まれています。コミュニティ・スクールを考えるうえでヒントがいっぱいありそうですね。



って元気に！心も体も！”といった地域の皆さん向けの講座・教室」、「映画観賞会」、「みんなdeごはん」を、金ケ崎公園では毎月1回「里山ジュニアクラブ」、年3回「親子自然体験 in 金ケ崎」が開催されています。子どもたち向けには、明石清水高校と連携した「みんなdeお勉強」を毎週開催されるなど、地域の皆さんのアイデアと実行力で人が集いつながりながら子どもたちだけでなく、大人も育つまちづくりに取り組まれています。コミュニティ・スクールを考えるうえでヒントがいっぱいありそうですね。

(文責：CSコーディネーター 北本)

コミュニティ・スクールだよりを皆様のお手元におとどけます

コミスクだよりをPDFファイルにて皆様のメールアドレスにお届けさせていただきます。ご希望があれば下記アドレスまで、コミスクだより希望とメールしてください。

a_kitamoto@city.akashi.lg.jp